

2008 年を迎えて -

希望の持てる社会をめざし、運動を進めよう

国民から支持され、働き甲斐のある職場と処遇改善を求めて

日本原子力研究開発機構労働組合（原研労）中央執行委員長 岩井 孝

新しい年を迎えました。今年こそ、少しでも明るい方向に転換させましょう。

ここ数年、日本の状況は決して好ましいものではありません。非正規社員という言葉が一般的になるほど、不安定雇用と低賃金を強いられる労働者の割合が急速に増えています。低賃金という点では、民間賃金では年収 200 万円以下が 1000 万人を超えているという国税庁の調査も公表されています。行き過ぎた成果主義や長時間・過密労働も大きな問題になっています。例えば、公立小中高校の教職員（92 万人）のうち、2006 年度に病気等で休職したのは約 7700 人ですが、そのうち、うつ病などの精神的疾患が 61% も占めているとの報道もあります。私たちの職場でも心身ともに疲弊した職員が増えていると感じています。このような日本や職場の状況は異常です。希望を持てる社会をめざしていきましょう。

「すべての独立行政法人をゼロから見直す」というかけ声のもとで進められた独立行政法人整理合理化計画が、昨年 12 月 24 日の閣議で、101 の独立行政法人を 85 法人へ減らすことが決められました。これに対して、特殊法人労連は「国民の視点なき『整理合理化計画』に反対する」という声明を公表しました。その中で「都市再生機構の賃貸住宅の管理業務の民営化について、国民の強い批判があり、首相裁定で『3 年後に検討』となったことなどに示されるように、この改革は国民の希望に反している。研究法人の統合は数合わせにすぎない。保有資産の見直しは、本社や宿舍などの保有財産の売却を進めるもので、民間デベロッパーの儲けの対象になるだけである。国民生活を疲弊させる構造改革路線に反対していく。」と表明しています。そのとおりであると考えます。

原子力機構については、これまでの議論で、「自己収入の増大として、共同研究資金の獲得、競争的資金の獲得、寄附金の増大」などが掲げられています。競争的資金

とは公募型特別会計や科研費などですが、経常的な研究予算が大幅に削減されている中で、これらの資金が増えていくのは大きな問題を抱えているということはこれまでも私達が指摘して来たところです。また、独立行政法人改革の取りまとめを担っている行政減量・効率化有識者会議は 11 月 27 日に公表した文書で、事務・事業の見直し等については「国民にとって真に不可欠な事務・事業以外は廃止」、事業の効率化については「随意契約の見直し」「保有資産の見直し」「官民競争入札等の積極的な適用」「給与水準の適正化」などを挙げています。「給与水準の適正化」の名のもとに、今後、処遇の大幅な引き下げを機構が提案してこないとは言えません。ここ 10 年ほど、賃金は横ばいか切り下げなのです。統合による切り下げ、「給与構造の見直し」による切り下げもあります。これ以上はきっぱり御免です。

私達を取り巻く状況は決して明るいものではありません。そのなかで、原研労組は、押し寄せる様々な問題に対しての防波堤、盾となり、諸問題を目いっぱい力で押し返してきました。さらに、より積極的な提案もしてきました。科労協や特殊法人労連などと連携し、関係官庁への働きかけや追及もしてきました。皆さんの声を集め、仲間を増やし、国民から支持され、働き甲斐のある職場と適切な処遇を求めて運動を進めていきましょう。

~~~~~

|                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>2008 年原研労組旗開きのお知らせ</b><br/>～ 20 年・30 年永年組合員の表彰を行います。～</p> <p>とき： 2008 年1 月16 日（水）18:30 より</p> <p>ところ： 原子力科学研究所 第1 研究棟1 階 第5 会議室</p> <p>内容： 委員長挨拶<br/>20 年、30 年永年組合員表彰<br/>執行部と組合員との懇談</p> <p>軽食を用意します。ふるってご参加下さい！！</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|